

学 会 等 発 表 実 績

1 . 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
口頭）Study on Tcell-induced bronchoconstriction in vivo and in vitro. Vii World Asthma	Mori A, Kouyama S, Yamaguchi M, Iijima Y, Abe A, Ohtomo T, Fukuhara M, Itoh J, Hayashi H, Minami T, Watarai K, Mitsui C, Oshikata C, Tanimoto H, Fukutomi Y, Sekiya K, Tsuburai T, Taniguchi M, Maeda Y, Ohtomo M, Hasegawa M, Akiyama K, Kaminuma	Allergy & COPD Forum	2014	国外
ポスター）Airflow limitation caused by activated T cells	Mori A, Kouyama S, Yamaguchi M, Iijima Y, Abe-Ohtomo A, Ohtomo T, Fukuhara M, Itoh J, Hayashi H, Minami T, Watarai K, Mitsui C, Oshikata C, Tanimoto H, Fukutomi Y, Sekiya K, Tsuburai T, Taniguchi M, Ohtomo M, Maeda Y, Hasegawa M, Akiyama K, Kaminuma	European Academy of Allergy and Clinical Immunology Congress 2014	2014	国外
ポスター）Is there any basophil activation in peripheral blood in AERD patients?	Mitsui C, Ono R, Kajiwara K, Watai K, Hayashi H, Ito J, Fukutomi Y, Sekiya K, Tsuburai T, Higashi N, Mori A, Mita H, Akiyama K, Taniguchi M	European Academy of Allergy and Clinical Immunology Congress 2014	2014	国外

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
口頭）Risk factors for the development of wheat allergy among individuals who have used a facial soap containing hydrolyzed wheat protein: case-control study	Fukutomi Y, Kishikawa R1), Sugiyama A1), Minami T, Taniguchi M, Akiyama K	European Academy of Allergy and Clinical Immunology Congress 2014	2014	国外
口頭）シンポジウム アスピリン喘息における病態解明の進歩	谷口正実	The 24th Congress of Interasma Japan/North asia	2014	国外
ポスター）日本における吸入アレルギー感作率の地域差	福富友馬、谷口正実、齋藤明美、安枝 浩、秋山一男	The 24th Congress of Interasma Japan/North asia	2014	国外
ポスター）中年期成人における肥満指標と喘息の関係：2011 年特定健康診査からの知見	福富友馬、谷口正実、入江真理、下田照文、岡田千春、中村陽一、秋山一男	The 24th Congress of Interasma Japan/North asia	2014	国外
ポスター）Three cases of anaphylaxis caused by macrogol	Ito J, Fukutomi Y, Minami T, Mitsui C, Kamezaki H, Nakamura R, Saito A, Watai K, Sekiya K, Oshikata C, Tsurikizawa N, Tsuburai T, Harada N, Atsuta R, Takahashi K, Taniguchi M, Akiyama K	The 24th Congress of Interasma Japan/North asia	2014	国外
ポスター）Change in nasal nitric oxide and fractional exhaled nitric oxide during oral aspirin challenge	Ito J, Tsuburai T, Taniguchi M, Watai K, Mitsui C, Sekiya K, Oshikata C, Tsurikizawa N, Fukutomi Y, Harada N1), Atsuta R1), Takahashi K1), Akiyama K	The 24th Congress of Interasma Japan/North asia	2014	国外

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
ポスター）若年成人発症喘息における短期喫煙が呼吸機能へ及ぼす影響	渡井健太郎、 関谷潔史、 谷口正実、 木下ありさ、 三井千尋、 南 崇史、 林 浩昭、 谷本英則、 押方智也子、 伊藤 潤、 釣木澤尚実、 福富友馬、 粒来崇博、 森 晶夫、 秋山一男	The 24th Congress of Interasma Japan/North asia	2014	国外
ポスター）アスピリン喘息と喫煙歴は関連するか	林 浩昭、 谷口正実、 三井千尋、 福富友馬、 渡井健太郎、 齊藤奈津美、 木下ありさ、 押方智也子、 伊藤 潤、 釣木澤尚実、 関谷潔史、 粒来崇博、 前田裕二、 森 晶夫、 秋山一男	The 24th Congress of Interasma Japan/North asia	2014	国外
ポスター） Is there any basophil activation in peripheral blood in AERD patients?	三井千尋、 小野恵美子、 梶原景一、 渡井健太郎、 木下ありさ、 林 浩昭、 福富友馬、 関谷潔史、 粒来崇博、 森 晶夫、 秋山一男、 谷口正実	The 24th Congress of Interasma Japan/North asia	2014	国外
ポスター）治療下でありながら呼気一酸化窒素高値が持続する喘息患者における予後の検討	木下ありさ、 伊藤 潤、 粒来崇博、 谷口正実、 渡井健太郎、 林 浩昭、 押方智也子、 関谷潔史、 釣木澤尚実、 福富友馬、 森 晶夫、 熱田 了、 高橋和久、 本間 栄、 秋山一男	The 24th Congress of Interasma Japan/North asia	2014	国外

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
ポスター）The Border line Fractional Exhaled Nitric Oxide in Patients With Prolonged / Chronic Cough	Sekiya K, Taniguchi M, Watai K, Saito N, Mistui C, Hayashi H, Ito J, Oshikata C, Tsurikisawa N, Fukutomi Y, Tsuburai T, Mori A, Akiyama K	The 24th Congress of Interasma Japan/North asia	2014	国外
ポスター）Can forced oscillation technique parameters predict airway hyperresponsiveness to histamine ?	Hayashi H, Tsuburai T, Saito N, Watai K, Kinoshita A, Mitsui C, Oshikata C, Ito J, Tsurikisawa N, Fukutomi Y, Sekiya K, Maeda Y, Mori A, Taniguchi M, Akiyama K	European Respiratory Society International congress 2014	2014	国外
ポスター）T cell induced-bronchoconstriction in vitro and in vivo	Mori A, Kouyama S, Yamaguchi M, Iijima Y, Abe A, Ohtomo T, Fukuhara M, Itoh J, Hayashi H, Minami T, Watarai K, Mitsui C, Oshikata C, Tanimoto H, Fukutomi Y, Sekiya K, Tsuburai T, Taniguchi M, Maeda Y, Ohtomo M, Hasegawa M, Akiyama K, Kaminuma O	30th Symposium of The Collegium Internationale Allergologicum, Petersberg	2014	国外

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
ポスター）Analysis of T cell-dependent bronchoconstriction	Mori A, Kouyama S, Yamaguchi M, Iijima Y, Abe A, Ohtomo T, Fukuhara M, Itoh J, Hayashi H, Minami T, Watarai K, Mitsui C, Oshikata C, Tanimoto H, Fukutomi Y, Sekiya K, Tsuburai T, Taniguchi M, Maeda Y, Ohtomo M, Hasegawa M, Akiyama K, Kaminuma O	19th Congress of Asian Pacific Society of Respiriology	2014	国外
ポスター）Development and treatment of steroid resistant asthma model by adoptive transfer of murine helper T cell clones	Mori A, Kouyama S, Yamaguchi M, Iijima Y, Ohtomo A, Ohtomo T, Itoh J, Hayashi H, Watarai K, Mitsui C, Oshikata C, Fukuhara M, Tanimoto H, Fukutomi Y, Sekiya K, Tsuburai T, Maeda Y, Ohtomo M, Taniguchi M, Akiyama K, Kaminuma O	WAO Internal Scientific Conference 2014	2014	国外
口頭）The Efficacy of Anti-IgE as a Therapy for AERD	Taniguchi M	2015 American Academy of Allergy Asthma and Immunology Meeting	2015	国外
ポスター）喘息患者における7-8年後の呼気一酸化窒素と呼吸機能の変化	伊藤 潤、 谷口正実、 粒来崇博、 渡井健太郎、 林 浩昭、 南 崇史、 三井千尋、 谷本英則、 押方智也子、 関谷潔史、 釣木澤尚実、 福富友馬、 原田紀宏、 前田裕二、 森 晶夫、 熱田 了、 高橋和久、 秋山一男	第54回日本呼吸器学会 学術講演会	2014	国内

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
ポスター)呼気NOおよびモストグラフを用いた気道過敏性の予測	福原正憲、 粒来崇博、 釣木澤尚実、 渡井健太郎、 三井千尋、 南 崇史、 林 浩昭、 谷本英則、 伊藤 潤、 押方智也子、 関谷潔史、 福富友馬、 前田裕二、 森 晶夫、 谷口正実、 長谷川真紀、 秋山一男	第 54 回日本呼吸器学会 学術講演会	2014	国内
ポスター)若年成人喘息においてペット飼育が肺機能に与える影響	関谷潔史、 谷口正実、 渡井健太郎、 南 崇史、 林 浩昭、 谷本英則、 押方智也子、 伊藤 潤、 釣木澤尚実、 福富友馬、 粒来崇博、 森 晶夫、 秋山一男	第 54 回日本呼吸器学会 学術講演会	2014	国内
ポスター)アスピリン喘息と喫煙は関連するか	林 浩昭、 谷口正実、 三井千尋、 福富友馬、 谷本英則、 押方智也子、 関谷潔史、 粒来崇博、 釣木澤尚実、 前田裕二、 森 晶夫、 長谷川真紀、 秋山一男	第 54 回日本呼吸器学会 学術講演会	2014	国内
口頭)20歳代発症喘息における喫煙歴と呼吸機能・気道過敏性の関係	渡井健太郎、 関谷潔史、 谷口正実、 三井千尋、 福原正憲、 南 崇史、 林 浩昭、 谷本英則、 押方智也子、 伊藤 潤、 釣木澤尚実、 福富友馬、 粒来崇博、 森 晶夫、 秋山一男	第 54 回日本呼吸器学会 学術講演会	2014	国内

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
口頭) EGPA の診断と治療 update	谷口正実	第 58 回日本リウマチ学会 総会・学術集会	2014	国内
ポスター) アスピリン負荷試験における呼気一酸化窒素濃度・鼻腔内一酸化窒素濃度測定の有用性の検討	伊藤 潤、 粒来崇博、 谷口正実、 渡井健太郎、 福原正則、 林 浩昭、 南 崇文、 三井千尋、 谷本英則、 押方智也子、 関谷潔史、 釣木澤尚実、 福富友馬、 原田紀宏、 前田裕二、 森 晶夫、 熱田 了、 高橋和久、 秋山一男	第 26 回日本アレルギー学会 春季臨床大会	2014	国内
ポスター) アスピリン喘息におけるアスピリン誘発反応では血漿中の血小板活性化マーカーは上昇しない	三井千尋、 梶原景一、 小野恵美子、 東 憲孝、 渡井健太郎、 木下ありさ、 林 浩昭、 伊藤 潤、 福富友馬、 関谷潔史、 粒来崇博、 三田晴久、 森 晶夫、 秋山一男、 谷口正実	第 26 回日本アレルギー学会 春季臨床大会	2014	国内
口頭) サイトカインからみた喘息の重症化要因	森 晶夫、 神山 智、 大友暁美、 大友隆之、 山口美也子、 飯島 葉、 渡井健太郎、 福原正憲、 林 浩昭、 南 崇史、 三井千尋、 伊藤 潤、 押方智也子、 谷本英則、 福富友馬、 関谷潔史、 粒来崇博、 大友 守、 前田裕二、 谷口正実、 長谷川真紀、 秋山一男、 神沼 修	第 26 回日本アレルギー学会 春季臨床大会	2014	国内

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
口頭)遷延性及び慢性咳嗽患者における境界域 FeNO 症例の検討	関谷潔史、 谷口正実、 渡井健太郎、 南 崇史、 林 浩昭、 谷本英則、 押方智也子、 伊藤 潤、 釣木澤尚実、 福富友馬、 粒来崇博、 森 晶夫、 秋山一男	第 26 回日本アレルギー学会 春季臨床大会	2014	国内
口頭) EGPA の診断と治療 update	谷口正実	第 26 回日本アレルギー学会 春季臨床大会	2014	国内
口頭)成人喘息におけるアレルギー特異的免疫療法の意義	谷口正実	第 26 回日本アレルギー学会 春季臨床大会	2014	国内
口頭) ABPA の診断	福富友馬、 谷本英則、 齋藤明美、 谷口正実	第 26 回日本アレルギー学会 春季臨床大会	2014	国内
ポスター) 気管支喘息症状と強制オシレーション法 (FOT) 気管支喘息症状を有するが閉塞性障害を認めない症例の検討	林 浩昭、 粒来崇博、 渡井健太郎、 三井千尋、 福原正憲、 南 崇史、 谷本英則、 福富友馬、 押方智也子、 伊藤 潤、 関谷潔史、 釣木澤尚実、 前田裕二、 森 晶夫、 谷口正実、 長谷川真紀、 秋山一男	第 26 回日本アレルギー学会 春季臨床大会	2014	国内
ポスター) 成人発症大豆アレルギー患者における臨床症状の季節性変動	南 崇史、 福富友馬、 谷口正実、 齋藤明美、 安枝 浩、 石井豊太、 渡井健太郎、 三井千尋、 福原正憲、 林 浩昭、 谷本英則、 押方智也子、 伊藤 潤、 釣木澤尚実、 関谷潔史、 粒来崇博、 前田裕二、 森 晶夫、 長谷川真紀、 秋山一男	第 26 回日本アレルギー学会 春季臨床大会	2014	国内

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
ポスター）国立病院機構相模原病院における思春期発症喘息の特徴	粒来崇博、 谷口正実、 福富友馬、 東 憲孝、 渡井健太郎、 佐藤 祐、 福原正憲、 南 崇史、 林 浩昭、 伊藤 潤、 谷本英則、 押方智也子、 釣木澤尚実、 関谷潔史、 前田裕二、 長谷川真紀、 秋山一男	第 26 回日本アレルギー学会 春季臨床大会	2014	国内
ポスター）北海道上士幌町における成人喘息，アレルギー性鼻炎有病率の検討－2006年，2011年の比較－	清水薫子、 今野 哲、 谷口菜津子、 西村正治、 檜澤伸之、 谷口正実、 赤澤 晃	第 26 回日本アレルギー学会 春季臨床大会	2014	国内
ポスター）アスピリン喘息におけるアスピリン誘発反応では血小板活性化マーカーは上昇しない	三井千尋、 小野恵美子、 梶原景一、 渡井健太郎、 林 浩昭、 福富友馬、 伊藤 潤、 関谷潔史、 粒来崇博、 東 憲孝、 三田晴久、 森 晶夫、 秋山一男、 谷口正実	第 26 回日本アレルギー学会 春季臨床大会	2014	国内
ポスター）アスピリン負荷試験における呼気一酸化窒素濃度・鼻腔内一酸化窒素濃度の測定の有効性の検討	伊藤 潤、 粒来崇博、 谷口正実、 渡井健太郎、 福原正憲、 林 浩昭、 南 崇史、 三井千尋、 押方智也子、 関谷潔史、 釣木澤尚実、 福富友馬、 原田紀宏、 前田裕二、 森 晶夫、 熱田 了、 高橋和久、 秋山一男	第 26 回日本アレルギー学会 春季臨床大会	2014	国内

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
ポスター)若年発症喘息における短期喫煙が呼吸機能へ及ぼす影響	渡井健太郎、 関谷潔史、 谷口正実、 三井千尋、 福原正憲、 南 崇史、 林 浩昭、 谷本英則、 押方智也子、 伊藤 潤、 釣木澤尚実、 福富友馬、 粒来崇博、 森 晶夫、 秋山一男	第 26 回日本アレルギー学会 春季臨床大会	2014	国内
口頭)若年成人喘息においてペット飼育が肺機能に与える影響	関谷潔史、 谷口正実、 渡井健太郎、 齋藤奈津美、 木下ありさ、 林 浩昭、 押方智也子、 伊藤 潤、 釣木澤尚実、 福富友馬、 粒来崇博、 森 晶夫、 秋山一男	第 45 回 日本職業・環境アレルギー学会 総会・学術大会	2014	国内
口頭)成人喘息の有病率の動向に関する ecological study	福富友馬、 谷口正実、 秋山一男	第 45 回 日本職業・環境アレルギー学会 総会・学術大会	2014	国内
ポスター)アスピリン喘息と喫煙歴は関連するか	林 浩昭、 谷口正実、 三井千尋、 福富友馬、 梶原景一、 伊藤律子、 谷本英則、 押方智也子、 釣木澤尚実、 関谷潔史、 粒来崇博、 前田裕二、 森 晶夫、 長谷川真紀、 秋山一男	第 35 回日本炎症・再生医学会	2014	国内
ポスター)アスピリン喘息では特異的に抹消血血小板が活性化している	三井千尋、 谷口正実、 梶原景一、 秋山一男	第 35 回日本炎症・再生医学会	2014	国内

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
ポスター)AIAにおいて血清ペリオスチンは有用なマーカーである、	三井千尋、 谷口正実、 梶原景一、 齋藤奈津美、 渡井健太郎、 木下ありさ、 林 浩昭、 福富友馬、 関谷潔史、 粒来崇博、 前田裕二、 森 晶夫、 出原賢治、 秋山一男	第 68 回国立病院総合医学会	2014	国内
ポスター)加水分解コムギ含有石鹼使用者における小麦アレルギー発症危険因子：症例対照研究	福富友馬、 岸川禮子、 杉山晃子、 原田芳徳、 片田圭宣、 南 崇史、 谷口正実、 秋山一男	第 68 回国立病院総合医学会	2014	国内
ポスター) Aspirin intolerant asthma(AIA)と喫煙歴は関連するか	林 浩昭、 谷口正実、 三井千尋、 福富友馬、 伊藤伊津子、 梶原景一、 渡井健太郎、 齋藤奈津美、 木下ありさ、 押方智也子、 伊藤 潤、 釣木澤尚実、 関谷潔史、 粒来崇博、 前田裕二、 森 晶夫、 秋山一男	第 68 回国立病院総合医学会	2014	国内
口頭) Prostanoid Receptors ~Fever, Pain, Inflammatory Swelling and Beyond~	成宮 周	Lipid Mediators in Health and Disease Sweden	2014	国外
口頭) PGE2-EP2 Signaling in Tumor Microenvironment Promotes Colon Tumorigenesis in Mouse	成宮 周	6th International Conference on Phospholipase A2 and Lipid Mediators	2014	国内
ポスター) A comprehensive monitoring method for lipid mediators using a high-speed LC/MS with continuous ionization polarity switching	山田真希、 北 芳博、 徳岡涼美、 小平貴博、 清水孝雄	62nd ASMS Conference 場 所 Baltimore, MD ,USA	2014	国外

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
ポスター) Development and evaluation of a comprehensive monitoring method for eicosanoid species using a high-speed LC/MS with continuous ionization polarity switching	山田真希、北 芳博、小平貴博、徳岡涼美、清水孝雄	Metabolomics 2014	2014	国内
口頭) Sec14L3, a novel protein recognizing liposome curvature and packing defects	Takao Shimizu	LIPID MAPS Annual Meeting 2014 Lipidomics Impact on Cell Biology, Inflammation and Metabolic Disease , USA	2014	国外
ポスター) Deficiency of monoacylglycerol lipase attenuates diet-induced obesity in an endocannabinoid system-independent manner	Kenji Yoshida, Yoshihiro Kita, Suzumi Tokuoka, Kenji Sakimura, Masanobu Kano, Takao Shimizu	LIPID MAPS Annual Meeting 2014 Lipidomics Impact on Cell Biology, Inflammation and Metabolic Disease , USA	2014	国外
ポスター) Monoacylglycerol lipase mediates fever via hypothalamic prostaglandin E2 production	Yoshihiro Kita, Kenji Yoshida, Suzumi M. Tokuoka, Fumie Hamano, Kenji Sakimura, Masanobu Kano, Takao Shimizu	LIPID MAPS Annual Meeting 2014 Lipidomics Impact on Cell Biology, Inflammation and Metabolic Disease , USA	2014	国外
ポスター) Development of glycerophospholipid profiling methods using ternary gradient liquid chromatography/ high-speed triple quadrupole mass spectrometry	Suzumi Tokuoka, Yoshihiro Kita, Masaki Yamada, Takao Shimizu	LIPID MAPS Annual Meeting 2014 Lipidomics Impact on Cell Biology, Inflammation and Metabolic Disease , USA	2015	国外
ポスター) Rapid phosphorylation and activation of lysophosphatidylcholine acyltransferase 2 via protein kinase c	Hideo Shindou, Ryo Morimoto, Megumi Tarui, Takao Shimizu	FASEB Phospholipid Cell Signaling and Metabolism in Inflammation and Cancer, USA	2014	国外
口頭) 多価不飽和脂肪酸含有リン脂質合成に関わる新規リゾホスファチジン酸アシル転移酵素(LPAAT4)の同定	衛藤 樹、進藤英雄、清水孝雄	第 56 回 日本脂質生化学会	2014	国内
口頭) モノアシルグリセロールリパーゼ欠損は高脂肪食負荷による肥満を抑制する	吉田憲司、北 芳博、徳岡涼美、崎村建司、狩野方伸、清水孝雄	第 56 回 日本脂質生化学会	2014	国内
口頭) PKC α を介した血小板活性化因子合成酵素 LPCAT2 のリン酸化	森本 亮、進藤英雄、垂井 愛、清水孝雄	第 56 回 日本脂質生化学会	2014	国内

発表した成果（発表題目、 口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所 （学会等名）	発表した時期	国内・外 の別
口頭）High-throughput screening による PAF 生合成酵素（LPCAT2）阻害剤の同定	垂井 愛、 進藤英雄、 森本 亮、 原山武士、 橋立智美、 熊谷和夫、 長野哲雄、 長瀬隆英、 清水孝雄	第 56 回 日本脂質生化学会	2014	国内
口頭）脂肪組織の慢性炎症化過程に関わる血小板活性化因子の機能解析	山口賢彦、 比嘉涼子、 山崎泰広、 五十里彰、 石井 聡、 三輪匡男、 清水孝雄、 菅谷純子	第 56 回 日本脂質生化学会	2014	国内
口頭）新規肺胞腔内分泌タンパク質 Sec14-like 3 の生化学的機能解析	菱川大介	第 13 回 肺サーファクタント分子病態研究会	2014	国内
口頭）Regulation of membrane phospholipids in health and disease	Takao Shimizu	55th International Conference on the Bioscience of Lipids: Lipids as Mediators of Health and Disease Scotland	2014	国外
ポスター）Identification of a novel lysophosphatidic acid acyltransferase enzyme (LPAAT4) with preference for polyunsaturated fatty acyl-CoA	Miki Eto, Hideo Shindou, Takao Shimizu	55th International Conference on the Bioscience of Lipids: Lipids as Mediators of Health and Disease Scotland	2014	国外
ポスター）Phosphorylated lysophosphatidylcholine acyltransferase 2 (LPCAT2) mediates rapid platelet-activating factor (PAF) production following PAF ⁺ or ATP-stimulation in macrophages	Ryo Morimoto, Hideo Shindou, Megumi Tarui, Takao Shimizu	55th International Conference on the Bioscience of Lipids: Lipids as Mediators of Health and Disease Scotland	2014	国外
ポスター）Identification of novel pulmonary surfactant lipid-related protein, Sec14-like 3	Daisuke Hishikawa, Hideo Shindou, Takeshi Harayama, Rie Ogasawara, Akira Suwabe, Takao Shimizu	FASEB The Lung Epithelium in Health and Disease , USA	2014	国外
口頭）Characterization of lysophospholipid and acyltransferase in vitro and vivo	Takao Shimizu	Lipid Mediators in Health and Disease in Kalolinska Institute , Sweden	2014	国外
口頭）生体膜リン脂質多様性形成メカニズム	進藤英雄、 森本 亮、 垂井 愛、 衛藤 樹、 原山武士、 清水孝雄	第 87 回日本生化学会大会	2014	国内

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
口頭およびポスター）新規肺胞腔内脂質結合タンパク質 Sec14-like 3 の生化学的機能解析	菱川大介、 進藤英雄、 原山武士、 小笠原理恵、 諏訪部章、 清水孝雄	第 87 回日本生化学会大会	2014	国内
口頭およびポスター）モノアシलगリセロールリパーゼ欠損は高脂肪食負荷誘導性肥満を抑制する	吉田憲司、 北 芳博、 徳岡涼美、 崎村建司、 狩野方伸、 清水孝雄	第 87 回日本生化学会大会	2014	国内
口頭およびポスター）ドコサヘキサエノイル-CoA (DHA-CoA) 特異的新規リゾホスファチジン酸アシル転移酵素 LPAAT4 の同定およびアルツハイマー病との関連についての解析	衛藤 樹、 橋本唯史、 進藤英雄、 岩坪 威、 清水孝雄	第 87 回日本生化学会大会	2014	国内
ポスター）発熱応答にはモノアシलगリセロールリパーゼ依存的なプロスタグランジン E2 産生が必要である	北 芳博、 吉田憲司、 徳岡涼美、 浜野文三江、 山崎真弥、 崎村建司、 狩野方伸、 清水孝雄	第 87 回日本生化学会大会	2014	国内
ポスター）3液グラジエントクロマトグラフィーを用いた高速選択反応モニタリング (SRM) 質量分析法によるリン脂質プロファイリングメソッドの開発	徳岡涼美、 北 芳博、 山田真希、 清水孝雄	第 87 回日本生化学会大会	2014	国内
口頭）Membrane remodeling by lysophospholipid acyltransferases	Hideo Shindou, Takao Shimizu	Conferences Jacques Monod Roscoff (Brittany), France	2014	国外
口頭）Identification of lysophosphatidic acid acyltransferase 4 (LPAAT4), a possible role for incorporating DHA into glycerophospholipids	Miki Eto, Hideo Shindou, Takao Shimizu	Max Planck-The University of Tokyo Center Symposium 2014, Germany	2014	国外
口頭）Calcium signaling triggers platelet-activating factor (PAF) biosynthesis	Ryo Morimoto	Max Planck-The University of Tokyo Center Symposium 2014, Germany	2014	国外
口頭）LPA (lysophosphatidic acid) acts on non-Edg type receptors	清水孝雄	10th 都医学研国際シンポジウム	2015	国内
口頭）Diversity of membrane phospholipids: biosynthetic mechanism and biological significance	清水孝雄	6th International Conference on Phospholipase A2 and Lipid Mediators	2015	国内

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
ポスター） 6th International Conference on Phospholipase A2 and Lipid Mediators PLM2015	吉田憲司、 北 芳博、 徳岡涼美、 崎村建司、 狩野方伸、 清水孝雄	6th International Conference on Phospholipase A2 and Lipid Mediators	2015	国内
口頭） Lysophosphatidic acid acyltransferase 4 (LPAAT4), a novel enzyme with activity for incorporating DHA into glycerophospholipids	Miki Eto, Hideo Shindou, Takao Shimizu	6th International Conference on Phospholipase A2 and Lipid Mediators	2015	国内
口頭） Roles for monoacylglycerol lipase in inflammation and metabolic syndrome	北 芳博、 吉田憲司、 徳岡涼美、 浜野文三江、 崎村建司、 狩野方伸、 清水孝雄	6th International Conference on Phospholipase A2 and Lipid Mediators	2015	国内
口頭） Development of glycerophospholipid profiling method for biological samples using ternary gradient liquid chromatography/selected reaction monitoring mass	徳岡涼美、 北 芳博、 山田真希、 清水孝雄	6th International Conference on Phospholipase A2 and Lipid Mediators	2015	国内
口頭） 好酸球性副鼻腔炎の病態形成における好酸球と肥満細胞の相互作用に関する検討	高林哲司	第 33 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	2015	国内
口頭） 好酸球性副鼻腔炎の病態形成における分子生物学的検討	高林哲司	第 53 回日本鼻科学会総会・学術講演会	2014	国内
口頭） Excessive fibrin deposition in patents with CRSwNP.	T Takabayashi, R Schleimer, S Fujieda	European Respiratory Society Symposium	2014	国外
口頭） 講演好酸球性副鼻腔炎の病態における肥満細胞と気道上皮の相互作用について	高林哲司、 岡本昌之、 富田かおり、 藤枝重治	第 115 回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会	2014	国内
口頭） 好酸球性副鼻腔炎の基礎と臨床.	藤枝重治	第 115 回日本耳鼻咽喉科総会・学術講演会	2014	国内
口頭） 好酸球性副鼻腔炎（JESREC Study）.	藤枝重治	第 26 回日本アレルギー学会春季臨床大会	2014	国内
口頭） 好酸球性副鼻腔炎.	藤枝重治	第 1 回日本総合アレルギー講習会	2014	国内
口頭）黄色ブドウ球菌コンポーネントによる好酸球性副鼻腔炎の制御	岡野光博	第 53 回日本鼻科学会	2014	国内
口頭）花粉症とプロバイオティクス	岡野光博	日本アレルギー学会 第 1 回総合アレルギー講習会	2014	国内

発表した成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別）	発表者氏名	発表した場所（学会等名）	発表した時期	国内・外の別
ポスター)基幹病院初診時における気管支喘息患者の気道過敏性の経年的変化（AERD:とnon-AERDの比較）	磯谷澄都、堀口智也、後藤祐介、丹羽義和、森川紗也子、峯澤智之、武山知子、山口哲平、岡村拓哉、魚津桜子、三重野ゆうき、後藤康洋、林正道、中西亨、今泉和良	第64回日本アレルギー学会学術大会	2015年5月発表予定	国内
口頭)気管支喘息・COPDに対する当科の取り組み	磯谷澄都	Scientific Exchange Meeting	2015年7月発表予定	国内

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所（学会誌・雑誌等名）	発表した時期	国内・外の別
Cellular Responses to Staphylococcus aureus Alpha-Toxin in Chronic Rhinosinusitis with Nasal Polyps	Okano M, Fujiwara T, Kariya S, Higaki T, Haruna T, Matsushita O, Noda Y, Makihara S, Kanai K, Noyama Y, Taniguchi M, Nishizaki K	Allergology International 2014	2014	国外
Epidemiological link between wheat allergy and exposure to hydrolyzed wheat protein in facial soap	Fukutomi Y, Taniguchi M, Nakamura H, Akiyama K	Allergy 69(10) pp:1405-1411	2014	国外
Oral Mite Anaphylaxis Caused by Mite-Contaminated Okonomiyaki/Pancake-Mix in Japan	Takahashi K, Taniguchi M, Fukutomi Y, Sekiya K, Watai K, Mitsui C, Tanimoto H, Oshikata C, Tsuburai T, Tsurikisawa N, Minoguchi K, Nakajima H, Akiyama K	Allergology International 63(1) pp: 51-56	2014	国外

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所 （学会誌・雑誌等名）	発表した時期	国内・外 の別
IgE Abs to Der p 1 and Der p 2 as diagnostic markers of house dust mite allergy as defined by a bronchoprovocation test	Minami T, Fukutomi Y, Lidholm BJ, Yasueda H, Saito A, Sekiya K, Tsuburai T, Maeda Y, Mori A, Taniguchi M, Hasegawa M, Akiyama K	Allergology International. 2015: 64 pp:90-95	2015	国外
A survey on the distribution of booklice, other allergenic arthropods, and fungi in houses in Tokyo	Kawakami Y, Hashimoto K, Fukutomi Y, Taniguchi M, Saito A, Akiyama K	Urban Pest Management. 2014: 4(2) pp:65-77	2014	国外
本邦における呼気一酸化窒素濃度の機種差検討。オフライン法、NO breath®の比較	伊藤 潤、 粒来崇博、 熱田 了、 渡井健太郎、 福原正憲、 林 浩昭、 南 崇史、 谷本英則、 押方智也子、 関谷潔史、 釣木澤尚実、 福富友馬、 原田紀宏、 前田裕二、 森 晶夫、 長谷川真紀、 谷口正実、 高橋和久、 秋山一男	アレルギー。 2014: 63(9) pp:1241-1249	2014	国内
特集 気道過敏性機序を解明することの重要性	谷口正実	アレルギーの臨床 No.455,2014.34 巻, 2014年3月号 p:16	2014	国内
EGPA の診断と治療 update	谷口正実	アレルギー Japanese Journal of Allergology 第 63 巻, 第 3・4 号 p:398	2014	国内
特集 子どもの気管支喘息：気管支喘息に関連する脂質メディエーター	谷口正実、 三井千尋、 三田晴久	小児科学レクチャー 第 4 巻 第 2 号 pp:458-466	2014	国内
特集 = 高齢者のアレルギー疾患 アレルギーとアレルギー疾患の原因となるアレルゲン	谷口正実	Aging & Health, No.69, 第 23 巻 第 1 号 pp:12-15	2014	国内
イチから知りたいアレルギー診療—領域を超えた総合対策—I.アレルギー総論, 1. 概念, 病態, メカニズム	谷口正実、 秋山一男	株式会社全日本病院出版会: pp:2-5	2014	国内

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所 （学会誌・雑誌等名）	発表した時期	国内・外 の別
早めの診断が大切!コワイ カビ のアレルゲン A.fumigatus(アス ベルギルスの一菌種) - 喘息とア レルギー性気管支肺アスペルギ ルス症-	谷口正実	ALLAZiN, Summer	2014	国内
γ グロブリン大量療法	谷口正実	呼吸, 第 33 巻 第 6 号, 2014 年 pp:581-590	2014	国内
吸入性アレルゲンの同定と対策, 序章 吸入性アレルゲンの同定, 第 1 章 吸入性アレルゲン・真 菌, 第 2 章アレルゲン Q&A, 谷 口正実(監修)	谷口正実、 福富友馬	株式会社 メディカルレビュー社 pp:1-5, 22-33, 59-64	2014	国内
好酸球性鼻鼻腔炎とアスピリン 喘息	谷口正実、 三井千尋、 東 憲孝、 小野恵美子、 林 浩昭、 福富友馬、 南 崇史、 伊藤 潤、 谷本英則、 関谷潔史、 粒来崇博、 森 晶夫、 石井優太、 梶原景一、 三田晴久、 秋山一男	RESPIRATORY TRENDS Vol.4, No.1 pp:12-15	2014	国内
NSAIDs 不耐症の病態、診断 治 療	谷口正実、 東 憲孝、 小野恵美子、 三井千尋、 福富友馬、 谷本英則、 関谷潔史、 山口裕礼、 三田晴久、 秋山一男	呼吸, 第 31 巻, 3 号		国内
アスピリン喘息(NSAIDs 過敏喘 息)	谷口正実、 三井千尋、 林 浩昭	Progress in Medicine Vol.34, No.6 pp:53-57	2014	国内
好酸球性多発血管炎性肉芽種症	谷口正実	内科 Vol.113, No.6 pp:1359-1360	2014	国内
気道アレルギー(花粉症, 鼻アレ ルギー, 喘息)に対するアレルゲ ン特異的免疫療法	谷口正実、 石井豊太、 福富友馬、 秋山一男	臨床免疫・アレルギー, Vol.62, No.1 pp:53-61	2014	国内
気管支喘息	谷口正実、 関谷潔史	調剤と情報 Vol.20, No.11: pp:82-87	2014	国内

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所 （学会誌・雑誌等名）	発表した時期	国内・外 の別
職業性喘息	谷口正実	呼吸器疾患診療 最新ガイドライン pp:251-255	2014	国内
治療最前線 喘息発作の治療	関谷潔史、 谷口正実	Mebio 31(1) pp:43-51	2014	国内
国立病院機構相模原病院の吸入 指導の実際と提言	関谷潔史、 谷口正実	吸入療法 6(1) pp:60-69	2014	国内
アレルギー疾患の実際診療「治 療」 外来を訪れるアレルギー疾 患の臨床と最前線と一般的日常 診療の実際 アスピリン喘 (NSAIDs 過敏喘息) - 非専門医へ の指針と対応法 -	谷口正実、 三井千尋、 林 浩昭	Medical Practice 31(2) pp:255-260	2014	国内
III.アレルギー・免疫的機序 31. アスピリン喘息(NSAIDs 過敏喘 息)	谷口正実、 三井千尋、 林 浩昭、 伊藤 潤、 南 崇史、 渡井健太郎、 東 憲孝、 小野恵美子、 福富友馬、 谷本英則、 関谷潔史、 粒来崇博、 秋山一男	『呼吸』エッセンシャルズ 呼 吸器疾患のビットフォール pp:143-148,	2015	国内
特集 難治性喘息 Up-Date—病態 から治療まで— 喘息の難治化因 子～アスピリン喘息～	谷口正実、 三井千尋、 東 憲孝、 小野恵美子、 林 浩昭、 福富友馬、 関谷潔史、 粒来崇博、 石井豊太、 森 晶夫、 梶原景一、 三田晴久、 秋山一男	Respiratory Medical Research. 2015: 3(1) pp:36-41	2015	国内
【企画】臨床医のためのクリニカ ルスタディ「花粉症(アレルギー 性鼻炎)」	谷口正実	スズケン メディカル. 2014: 17(6) pp:1-12	2014	国内
Thromboxane A2 acts as tonic immunoregulator by preferen tial disruption of low-avidity CD4+ T cell-dendritic cell interactions.	Moalli F, Cupovic J, Thelen F, Halbherr P, Fukui Y, Narumiya S, Ludewig B, Stein JV.	J Exp Med. 211(13) pp:2507-17.	2014	国外

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所 （学会誌・雑誌等名）	発表した時期	国内・外の別
Exacerbation of intracranial aneurysm and aortic dissection in hypertensive rat treated with the prostaglandin F-receptor antagonist AS604872.	Fukuda M, Aoki T, Manabe T, Maekawa A, Shirakawa T, Kataoka H, Takagi Y, Miyamoto S, Narumiya S.	J Pharmacol Sci. 2014;126(3) pp:230-42.	2014	国内
Prostanoid induces premetastatic niche in regionallymph nodes.	Ogawa F, Amano H, Eshima K, Ito Y, Matsui Y, Hosono K, Kitasato H, Iyoda A, Iwabuchi K, Kumagai Y, Satoh Y, Narumiya S, Majima M.	J Clin Invest. 124(11) pp:4882-94	2014	国外
Interplay between CXCR2 and BLT1 facilitates neutrophil infiltration and resultant keratinocyte activation in a murine model of imiquimod-induced psoriasis	Sumida H, Yanagida K, Kita Y, Abe J, Matsushima K, Nakamura M, Ishii S, Sato S, Shimizu T.	J. Immunol.192. pp:4361-4369	2014	国外
12-Hydroxyhpetadecatrienoic acid promotes epidermal wound healing by accelerating keratinocyte migration via BLT2 receptor.	Liu M, Saeki K, Matsunobu T, Okuno T, Koga T, Sugimoto Y, Yokoyama C, Nakamizo S, Kabashima K, Narumiya S, Shimizu T, Yokomizo T.	J. Exp. Med. 211 pp:1063-78	2014	国外
Rapid Production of Platelet-activating Factor Is Induced by Protein Kinase C α -mediated Phosphorylation of 0Lysophosphatidylcholine Acyltransferase 2 Protein.	Morimoto R, Shindou H, Tarui M, Shimizu T.	J. Biol. Chem.289. pp:15566-15576	2014	国外
Lysophospholipid acyltransferases mediate phosphatidylcholine diversification to achieve the physical properties required in vivo.	Harayama T, Eto M, Shindou H, Kita Y, Otsubo E, Hishikawa D, Ishii S, Sakimura K, Mishina M, Shimizu T.	Cell metab. 20. pp:295-305	2014	国外

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所 （学会誌・雑誌等名）	発表した時期	国内・外 の別
Selective inhibitors of a PAF biosynthetic enzyme lysophosphatidylcholine acyltransferase 2.	Tarui M, Shindou H, Kumagai K, Morimoto R, Harayama T, Hashidate T, Kojima H, Okabe T, Nagano T, Nagase T, Shimizu T.	J. Lipid Res.55. pp:1386-1396	2014	国外
Predominant role of cytosolic phospholipase A2alpha in dioxin-induced neonatal hydronephrosis in mice.	Yoshioka W, Kawaguchi T, Fujisawa N, Aida-Yasuoka K, Shimizu T, Matsumura F, Tohyama C.	Sci. Rep.4, p:4042	2014	国外
Diversity and function of membrane glycerophospholipids generated by the remodeling pathway in mammalian cells.	Hishikawa D, Hashidate T, Shimizu T, Shindou H.	J. Lipid Res. 55: pp799-807	2014	国外
Role of p38 mitogen-activated protein kinase in linking stearyl-CoA desaturase-1 activity with ER homeostasis.	Koeberle A, Pergola C, Shindou H, Koeberle SC, Shimizu T, Laufer SA, Werz O.	FASEB J. in press	2015	国外
The atypical N-glycosylation motif, Asn-Cys-Cys, in human GPR109A is required for normal cell surface expression and intracellular signaling.	Yasuda D, Imura Y, Ishii S, Shimizu T, Nakamura M.	FASEB J. in press	2015	国外
A platelet-activating factor (PAF) receptor deficiency exacerbates diet-induced obesity but PAF/PAF receptor signaling does not contribute to the development of obesity-induced chronic inflammation.	Yamaguchi M, Matsui M, Higa R, Yamazaki Y, Ikari A, Miyake M, Miwa M, Ishii S, Sugatani J, Shimizu T.	Biochem. Pharmacol. 93, pp:482-495.	2015	国外
Effect of Asian sand dust on Japanese cedar pollinosis.	Ogi K, Takabayashi T, Sakashita M, Susuki D, Yamada T,	Auris Nasus Larynx.	2014	国内
好酸球性副鼻腔炎（JESREC Study）.	藤枝重治、 坂下雅文、 徳永貴広	アレルギー	2015	国内

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所 （学会誌・雑誌等名）	発表した時期	国内・外 の別
好酸球性副鼻腔炎は日本独自の疾患概念なのだろうか？	藤枝重治	アレルギー・免疫	2015	国内
Sex-determining region Y-box 2 and GA-binding proteins regulate the transcription of liver receptor homolog-1 in early embryonic cells.	Kanno M, Yazawa T, Kawabe S, Imamichi Y, Usami Y, Ju Y, Matsumura T, Mizutani T, Fujieda S, Miyamoto K.	Biochim Biophys Acta.	2014	国外
An association study of 36 psoriasis susceptibility loci for psoriasis vulgaris and atopic dermatitis in a Japanese population.	Tamari M, Saeki H, Hayashi M, Umezawa Y, Ito T, Fukuchi O, Nobeyama Y, Yanaba K, Nakagawa H, Tsunemi Y, Kato T, Shibata S, Sugaya M, Sato S, Tada Y, Doi S, Miyatake A, Ebe K, Noguchi E, Fujieda S, Ebihara T, Amagai M, Esaki H, Takeuchi S, Furue M, Hirota T.	J Dermatol Sci.	2014	国外
Dectin-1-mediated signaling leads to characteristic gene expressions and cytokine secretion via spleen tyrosine kinase (Syk) in rat mast cells.	Kimura Y, Chihara K, Honjoh C, Takeuchi K, Yamauchi S, Yoshiki H, Fujieda S, Sada K.	J Biol Chem.	2014	国外
Novel IL36RN gene mutation revealed by analysis of 8 Japanese patients with generalized pustular psoriasis.	Hayashi M, Nakayama T, Hirota T, Saeki H, Nobeyama Y, Ito T, Umezawa Y, Fukuchi O, Yanaba K, Kikuchi S, Nakagawa H, Tsunemi Y, Shibata S, Sato S, Tada Y, Miyatake A, Fujieda S, Tamari M.	J Dermatol Sci.	2014	国外

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所 （学会誌・雑誌等名）	発表した時期	国内・外 の別
DBZ Regulates Cortical Cell Positioning and Neurite Development by Sustaining the Anterograde Transport of Lis1 and DISC1 through Control of Ndel1 Dual- Phosphorylation.	Okamoto M, Iguchi T, Hattori T, Matsuzaki S, Koyama Y, Taniguchi M, Komada M, Xie MJ, Yagi H, Shimizu S, Konishi Y, Omi M, Yoshimi T, Tachibana T, Fujieda S, Katayama T, Ito A, Hirotsune S, Tohyama M, Sato M.	J Neurosci.	2015	国外
Pulmonary function in patients with chronic rhinosinusitis and allergic rhinitis.	Kariya S, Okano M, Oto T, Higaki T, Makihara S, Haruna T, Nishizaki K.	The Journal of Laryngology and Otology	2014	国外
Local expression of IL-17A is correlated with nasal eosinophilia and clinical severity in allergic rhinitis.	Makihara S, Okano M, Fujiwara T, Noda Y, Higaki T, Miyatake T, Kanai K, Haruna T, Kariya S, Nishizaki K.	Allergy and Rhinology	2014	国外
Cellular responses to Staphylococcus aureus alpha-toxin in chronic rhinosinusitis with nasal polyps.	Okano M, Fujiwara T, Kariya S, Higaki T, Haruna T, Matsushita O, Noda Y, Makihara S, Kanai K, Noyama Y, Taniguchi M, Nishizaki K.	Allergology International	2014	国内

掲載した論文（発表題目）	発表者氏名	発表した場所 （学会誌・雑誌等名）	発表した時期	国内・外の別
Cellular responses to Staphylococcus aureus alpha-toxin in chronic rhinosinusitis with nasal polyps.	Okano M, Fujiwara T, Kariya S, Higaki T, Haruna T, Matsushita O, Noda Y, Makihara S, Kanai K, Noyama Y, Taniguchi M, Nishizaki K.	Allergology International	2014	国内
Chronic rhinosinusitis patients have decreased lung function.	Kariya S, Okano M, Higaki T, Noyama T, Haruna T, Ishihara T, Makino T, Onoda T, Nishizaki K.	Int Forum Allergy Rhinol	2014	国外
Staphylococcal protein A-formulated immune complexes suppress enterotoxin-induced cellular responses in nasal polyps.	Okano M, Fujiwara T, Kariya S, Haruna T, Higaki T, Noyama Y, Makihara S, Kanai K, Nishizaki K.	Journal of Allergy and Clinical Immunology	in press	国外